

ソフトウェアのアップデートにより MQTT プロトコルに対応 プログラマブルコントローラ「FC6A 形 Plus」から クラウドサーバーにデータ送信が可能に

IDEC 株式会社（代表取締役会長兼社長：船木 俊之）は、2015年12月に高性能なプログラマブルロジックコントローラ（PLC）「FC6A 形 All-in-One CPU モジュール」の発売を開始し、2017年10月には、さらに高性能・多機能な「FC6A 形 Plus CPU モジュール」を発売いたしました。高性能と手軽さを一台で実現する All-in-One タイプと、大型機械や小規模の生産ライン全体の制御可能にする Plus タイプをラインアップし、遠隔監視・操作をはじめとする IoT を手軽に実現できます。

FC6A 形は、年に数回ソフトウェアのバージョンアップを行っておりますが、2020年12月21日（月）に予定しているバージョンアップにより、FC6A 形 Plus が「MQTT プロトコル」に対応いたします。

近年 IoT の普及により、各種機器から集めたさまざまなデータをサーバーに保存し、そのデータを分析・活用したい、という需要が高まっています。MQTT（Message Queue Telemetry Transport）は、IoT に適した通信プロトコルとして国内外で広く利用されていますが、MQTT 通信プロトコルに対応した産業用コントローラは限られているため、機械や設備のデータをサーバーへ送信する場合、PLC からデータを収集し、MQTT プロトコルに変換するための通信機器（エッジコントローラ、IoT ゲートウェイ等）を追加したり、中継サーバーを設置する必要があるため、費用面、開発面において課題となっていました。



プログラマブルコントローラ
FC6A 形 Plus

【これまでの課題】

- 通信機器や中間サーバーを設置すれば PLC のデータをデータ収集サーバーに集約することが可能だが、費用面、開発面において難易度が高く、簡単には導入できない。

【FC6A 形 Plus による解決案】

- MQTT 対応となることで、PLC から直接データ収集サーバーと通信することが可能に。
- 制御とセンシング、通信を 1 台で行えることから、簡単に IoT 化の需要に対応。
- 既に FC6A 形 Plus を導入いただいている場合も、今回のソフトウェアバージョンアップで MQTT プロトコルに対応。

生産現場だけでなく、さまざまな機械・設備において FC6A 形を IoT コントローラとしてお使いいただくことにより、低コストで効率的なおデータ集が可能となります。これにより、傾向や状況をリアルタイムに把握することができ、業務の効率化や生産性向上に寄与いたします。



以上

このリリースに関するお問い合わせ

IDEC 株式会社 経営戦略企画部 コーポレートコミュニケーション担当 元山理映子
 (TEL) 06-6398-2505 (Email) rieko.motoyama@idec.com